

# 尚武

- |   |             |   |            |
|---|-------------|---|------------|
| 1 | 会長挨拶        | 7 | 昇段情報       |
| 2 | 新幹部紹介、新主将挨拶 | 8 | トピックス・お知らせ |
| 3 | 4年生進路状況     | 9 | 後援会報廃刊に寄せて |
| 4 | 試合結果、近況     |   |            |
| 5 | 令和4年夏季合宿    |   |            |
| 6 | 支部会中止について   |   |            |

## 1 会長挨拶

名城大学剣道部後援会会長 高石 和人（18代）



新年明けましておめでとうございます。昨秋以降、新型コロナウイルスによる第8波と見られる感染拡大は新たな行動制限には及ばず社会経済活動を維持するという政府方針のもと、油断はなりません。が久し振りに不自由や不安のない

新年をお迎えのことでしょう。

さて、予てよりお知らせしております通り、50余年に亘り会員の皆様への情報提供のツールとして親しんで参りました紙媒体としての「名城大学剣道部後援会報」は役割を終え、今号をもって最終号となります。今後は、ネット社会に相応しいHPやSNS等を活用したリアルタイムな情報提供の仕組みを構築し、次代に繋ぐ有益なツールとして機能するよう令和5年4月運用開始を目的に準備を進めている所でございます。

現役幹部の頃（47年前）、当時の事務局長であった濱勇次先輩（11代、現相談役）の指示を得ながら会報発行に向け原稿収集、広告依頼、印刷会社との調整など不安に過ごす中、その年の東海選手権は名城大学同士の決勝戦となり、優勝大塚政弘（2年）、準優勝吉嶺友博（3年）となると「すぐさま号外を発行せよ！」との濱先輩からの指令にその感情はピークに達し、嬉しさの一方でやけくそになり途方に暮れた若き日をふと思い出しました。

そんなことも含め、関りの深い後援会報も今号で廃刊となることに一抹の寂しさを感じつつも、「restart」として前に進むことに意義があると信じながら本会活動を進めて参りたく、引き続き皆様の絶大なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

同時に、今年こそ会員の皆様、剣道部員諸君、ご父兄の皆様、また大学関係の皆様が平穏な日常が戻りますよう心から祈念申し上げます。

## 2 新幹部紹介、新主将挨拶

### ◆新主将挨拶

第65代主将 加藤 尚也



第65代主将を務めます加藤尚也と申します。現在の名城大学剣道部は部員数が多くない状況であり、入部目的もそれぞれ異なる中ではありますが、部員一人一人が全国大会出場の目標に加え、それぞれの目標を達成できるよう、高い意識の中で日々稽古を行っております。

また、名城大学剣道部として剣道技術だけを磨くので

はなく、礼儀正しく、品位ある人間になれるよう、人としても成長することを忘れず、努力していこうと思う所存でございます。名城大学剣道部は先輩方の多大なるお力添えの下に成り立っています。大変な社会情勢の中ではありますが、多くの先輩方から応援のお声を頂き、恵まれた環境の中で稽古ができています。この気持ちを忘れることなく、剣道部一丸となって邁進して参りますので、今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

## 第 65 代女子主将 鈴木 菜月



去年に引き続き、第 65 代女子主将を務めさせていただきます鈴木菜月と申します。

女子部員は 6 人という少ない人数ではありますが、それぞれ六郷監督のもと厳しい稽古の中でも自分自身に妥協することなく試合で 1 本取る力と精神面を鍛えて、全国でも戦えるチームになるよう努力し、剣道の技術面だけでなく、仲間と支えてくれている人への礼節や感謝の気持ちを忘れず人間性も成長できるようがんばっていきます。

剣道は「礼に始まり礼に終わる」といわれる通り、武道を習う際には礼節がとても重要となります。武道を学んでいくことで礼儀正しさが身につくだけでなく、相手への思いやりや、感情を抑えて黙々と修練を継続する忍耐強さなども身につけることができます。主将として、社会に出たとき誇れるような人間であるように部員のお手本となっていきたいと思います。

このご時世で稽古できることに感謝しながら稽古に励んでまいりますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

### ◆第 65 代新幹部

主将 加藤 尚也 (3 年、理工)  
副主将 今井 俊作 (3 年、経済)  
主務 加藤 圭悟 (3 年、法)  
副務 田中 球真 (2 年、法)

会計 柏原 充稀 (3 年、法)  
女子主将 鈴木 菜月 (3 年、理工)  
女子副主将 松野 里菜 (3 年、法)  
Web 責任者 森 健斗 (3 年、理工)

### 3 4 年生 (64 代) 進路状況

主将 芝 拓海 愛知県警察  
副主将 藤井 達生 岐阜ダイハツ販売株式会社  
主務 鬼頭 拓也 愛知県警察



### 4 試合結果、近況

#### ◆東海学生剣道優勝大会

9 月 19 日 (月) 於 スカイホール豊田  
男子：予選リーグ敗退

#### ◆東海女子学生剣道優勝大会

10 月 2 日 (日) 於 枇杷島スポーツセンター  
女子：決勝トーナメント進出後、常葉大学に惜敗

#### ◆漱玉館杯争奪東海女子学生選抜剣道大会

10 月 22 日 (土) 於 漱玉館  
女子：予選リーグ敗退

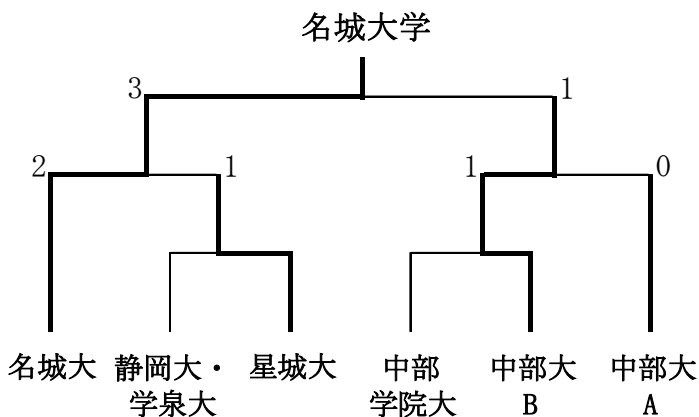


◆東海学生剣道新人優勝大会

11月26日(土) 於 OKB ぎふ清流アリーナ

男子5人制: **優勝**

5人制決勝トーナメント



男子7人制: 1回戦敗退

女子5人制: 予選リーグ敗退

◆東海私立大学剣道選手権大会(予定)

令和5年3月4日(土) 於 稲永スポーツセンター

◆東海学連剣友剣道大会

12月11日(日) 於 昭和スポーツセンター

- ・成年の部 予選リーグ敗退
- ・熟年の部

名城大学 A チーム 第3位 (31代上田先輩、29代豊田先輩、15代戸田先輩)

名城大学岐阜剣友会 第3位 (24代清水先輩、22代柴山先輩、18代桑葉先輩)

名城大学 B チーム 予選リーグ敗退

以上の結果により A チーム、及び岐阜剣友会は1月22日(日)に開催される第9回全日本学連剣友剣道大会に出場します。



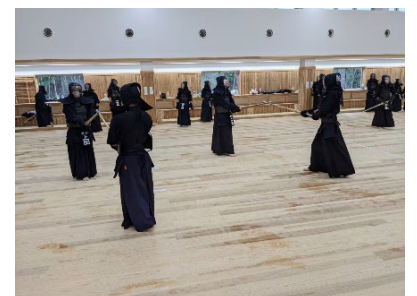
## 5 令和4年夏季合宿

令和4年8月24日（水）から29日（月）にかけて剣道部の合宿が可児市の「湫玉館」にて開催されました。

コロナの影響により4年ぶりとなる合宿であり、近郊の合宿地でありましたが、依然コロナ感染は収束することなく安全面を考慮してOBへの声かけは最小限に留める対応としました。

高石会長から合宿支援金、桑葉副会長から1年生部員へ「尚武手拭い」を渡した後、基本稽古、OBとの地稽古に移りました。例年であればその後現役と夕食を取り、OB同志の歓談、そして就寝、翌朝稽古の段取りでしたが、時節柄当日のみのあっさりした合宿参加となりました。

（参加OB／高石師範12代、高石会長18代、桑葉副会長18代、久保山岐阜支部長22代、六郷監督29代、上田事務局長31代、宮野先輩63代）



## 6 支部会中止について

例年11月から翌年2月にかけて忘年会や新年会を兼ねて全国で支部会を開催しておりましたが、新型コロナウイルス感染の影響を受け、大勢が寄り集まって協議や飲食することは万が一の感染につながる危険性を排除できないものとして役員会（メール・電話等）にて本年度も中止とする決定を致しました。

毎回楽しみにされていた会員の皆様、次年度は何の不安もなく開催できる環境が整うことを期待しつつ、お会いできることを待ち望んでおります。

## 7 昇段情報

剣道 7 段 中島 慎介先輩 (42 代、中四国支部副支部長)

名古屋審査会 令和 4 年 11 月 12 日 (土) 枇杷島スポーツセンター

\*この結果、事務局集計による高段者は、8 段 2 名、7 段 43 名、6 段 15 名になります。

### ◆『剣道7段昇段に思う』 中島 慎介先輩(42代)



令和 4 年 11 月 12 日、名古屋市で実施されました剣道七段審査会におきまして、七段に昇段させていただきました。

4 年前に緑内障を発症し、視野の極度の狭窄により、現在、相手の太刀筋はおろか、

攻め合いの際の剣先の動きがほとんど見えません(緑内障で失われた視野は回復しません。)が、逆に「竹刀の動きに惑わされない、気迫と対さばきで攻める」の 2 点を心掛け、稽古に励みました。審査では、際立った有効

打突もなく、どこが評価されたかわかりませんが、相手の攻めに動じず(単に見えてないだけですが)、自分の剣道に徹したことが良かったのかなと自己分析しています。

昇段はいたしました。七段に「成った」わけではなく、その入口に立つことを許されたにすぎません。引き続き、剣業一致、私生活との調和を図りつつ、眼病とも付き合いながら精進してまいりたいと思いますので、引き続きご指導のほどよろしくお願いたします。

## 8 トピックス・お知らせ

### ◆愛知県高齢剣友会秋季剣道祭

令和 4 年 10 月 21 日 (金) 日本碓子ホールにて開催されました。県内の OB がそれぞれのチームにて出場し勝負を競い、試合後の稽古に汗を流しました。

(写真左から、15 代戸田先輩、15 代織田先輩、12 代加藤先輩、10 代宮田先輩、12 代水野先輩、15 代大橋先輩)



### ◆15 代同期会

令和 4 年 11 月 27 日 (日) 15 代の同期会が 3 年ぶりに名古屋市の和食処にて開催され、昔話、近況報告などあつという間の楽しい時間を過ごしました。次回は京都あたりで行うと約束して別れました。

(写真左から、折本先輩、小島先輩、中井先輩、戸田先輩、桜井先輩)



### ◆後援会費納付のお願い

令和 4 年度後援会費の納付状況は 12 月末現在、会員・賛助会員 119 名の皆様から 147 口 745,000 円の納付を頂きました。誠に有難うございます。しかしながら会員数は僅かに増加しているにもかかわらず納付者の伸びは鈍化(下回り)の傾向で推移しています。事情ご賢察の上、納付の手続きがお済みでない会員の皆様、お手数ですが期限までにご手配頂きますようお願い致します。振込用紙がお手元にない場合、事務局にお問い合わせください。宜しくお願致します。



(納付期限：令和 5 年 2 月末日)

**9 後援会報廃刊に寄せて**  
相談役 瀧 勇次 (11代)



名城大学剣道部後援会は、「現役学生に対する金銭の支援」を目標として発足しました。当時大学での奨学生の枠から外れた学生に対し後援会奨学生として援助し、初期の目的はいくらか達成されました。その成果として昭和43年には東海団体戦・同42、45、51年東海個人戦でそれぞれ優勝いたしました。金銭支援で始まりました後援会も昭和63年には10代小林先輩が監督に、平成11年には12代水野君が師範に、昨年からは12代高石君が師範、29代六郷君が監督を引き継がれました。このように我が剣道部後援会は、物心両面にわたり現役学生を支援する体制が整いました。

私事で恐縮ですが昭和47年から平成27年までの43年間後援会業務に関わらせて頂きましたが今も忘れないことがあります。

①結婚の仲人を岩本監督にお願いに行きましたところ、

妻に剣道部後援会のことを説明され後援会 5,000 円は必ず払うようにと話されました。当時私の給与は3万円でした。

②昭和47年に岩本会計に就職する際には、剣道部後援会の事は会計事務所の業務の一つと心得よとの事で、18代高石君（現会長）に業務を引き継ぐまで微力ながら務めて参りました。

③後援会運営にあたり飲食を伴う際には後援会費からの支出は一切禁止で、会議に参加したOBで自己負担し剰余が出たときは後援会に入金することと指導されました。ただし3代川瀬先輩が会長をされました際は、飲食等の費用は総て川瀬会長のポケットマネーで処理して頂きました。

最後に、川瀬元会長をはじめ後援会発足に尽力されました8代矢野先輩、ご尊父矢野文武氏、そして岩本元監督、9代土肥先輩の在りし日を偲びつつ、思い出深い名城大学剣道部後援会報（紙媒体）の幕を一旦閉じます。皆様有難うございました。



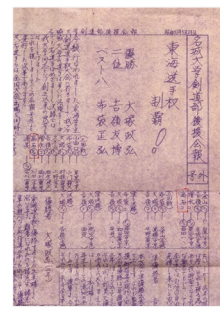
昭和45年10月号



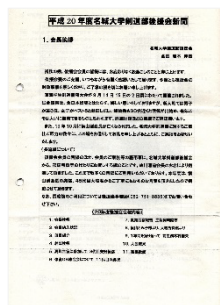
号外 (昭和49年6月)



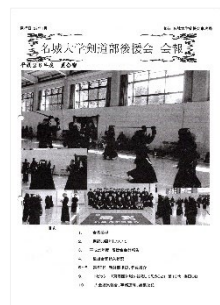
昭和50年12月号



号外 (昭和51年5月)



平成20年10月号



平成27年新年号



平成27年12月号



平成30年夏季号

名城大学剣道部後援会会報 (令和5年新年号)

発行日: 令和5年1月1日

発行人: 高石 和人 (会長、18代)

編集人: 上田 剛裕 (事務局長、31代)、加藤 圭悟 (主務、65代)、田中球真 (副務、66代)

発行所: 名城大学剣道部後援会事務局

〒465-0028 名古屋市中名東区猪高台1-212 (201)

TEL/FAX 052-778-4160 E-Mail takaishik910@yahoo.co.jp

